

「火の用心だより」

第48号(平成31年2月)

発行：札幌市消防局予防部予防課

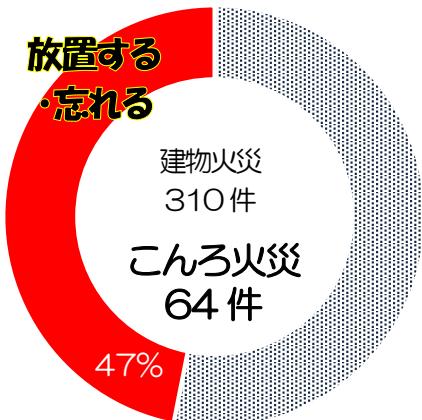
つい、うっかり！は火災のはじまり

●こんろの消し忘れ！

平成30年中に建物で発生した火災のうち、64件はこんろが原因によるものです。

その約半数を占める原因として、火をつけたまま「放置する・忘れる」ことで火災が起きています。

こんろを使用したときにはその場を離れないことで、こんろ火災の多くを防ぐことができます。

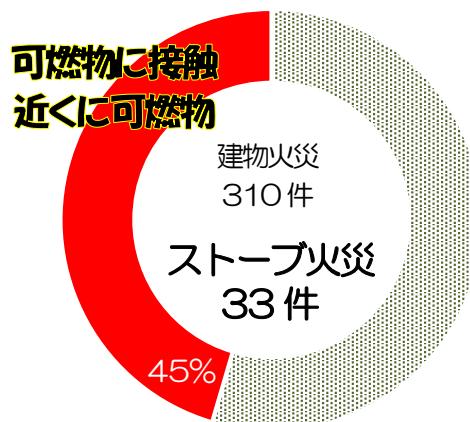


●つけっぱなしのストーブ！

同様にストーブが原因による火災は33件です。ストーブの使用する期間は限られていますので、火災発生率は高いと言えます。

ストーブ火災の約半数は、「可燃物が接触する」、「熱で近くの可燃物から出火する」ことで火災が起きています。

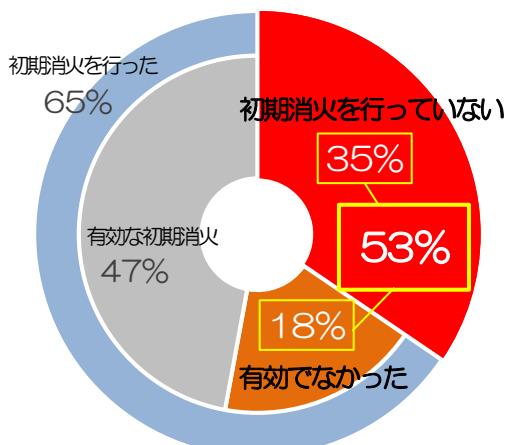
ストーブの周囲には燃えやすいものを置かないことで、ストーブ火災の多くを防ぐことができます。



火災の拡大を防ぐ初期消火

平成30年中の建物火災で、「初期消火を行っていない」、「初期消火を行ったが有効でなかった」火災は164件(53%)という状況でした。

火災の早期発見と迅速な初期消火は、火災の拡大を防止します。火災を起こさせないことはもちろんのこと、火災が起きたときにどう行動するかを日頃から考えておくことも大切です。



自動消火装置をご存知ですか

自動消火装置とは、火災の熱を感知して自動で消火薬剤を放射し初期消火を行う簡易な装置で、火災の拡大防止など、被害の軽減に有効です。



●高齢者世帯に助成制度があります

『65歳以上の高齢者のみで構成される世帯』は、
『1世帯につき2台』まで自動消火装置の購入・設置に要した費用の9割
(1台あたり最大28,700円)を助成する制度があります。

●どんな種類があるの？

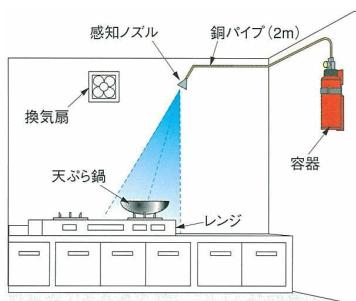
自動消火装置は設置場所により大きく3つに分かれ、現在8機種が助成対象です。
3万円（自己負担3,000円）程度で取付可能な機種もあります。

【レンジフード内取付式】



付属の取付金具を使用して、台所のレンジフード内に設置・固定する。
(1機種)

【壁面取付式】



消火器型の本体を壁面に設置し、コイル状の銅パイプを伸ばして感知ノズルをこんろやストーブ等の上方に取付ける。(4機種)

【天井取付式】



天井または梁などに本体を固定して設置する。先端ノズルのみを天井から出して、本体を天井内に埋設することも可能。(3機種)



助成対象の自動消火装置は、検査機関が実施した試験により性能評定を取得しているので、十分な消火能力があります。



複雑な工事が必要ないため、専門業者によりすぐに取付けができます。

※助成を受けるためには、適切な作動と消火性能の確保のため、専門業者による取付けが必要です。

市民が主役の火災予防

- ① 火災予防行事・活動に参加しましょう
- ② 火災予防の知識・行動要領を身につけましょう
- ③ 消火器などの防災機器を備えましょう
- ④ 防炎品を使用しましょう
- ⑤ 放火されない環境をつくりましょう
- ⑥ 火災から高齢の方などを守りましょう

発行：札幌市消防局予防部予防課

〒064-8586 札幌市中央区南4条西10丁目

☎011-215-2040

SAPP_RO